



# 内務省特報



## ◎内務省告示第五百八十四號

道路法第二十條第二項ノ規定ニ依リ本大臣ニ於テ新設又ハ改築

ヲ爲シタル國道ニシテ工事ノ終了シタルモノ左ノ如シ

昭和十七年九月十六日

内務大臣 湯澤 三千男

路線名

區 間

工事終了ノ期日

四 號

自栃木縣下都賀郡桑村  
至同縣同郡石橋町

昭和十九年  
九月十六日

## ◎内務省告示第五百九十六號

市制第三條及町村制第三條ニ依リ昭和十七年十月一日ヨリ兵庫

縣赤穂郡相生町ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ相生市ヲ置ク

昭和十七年九月二十五日

内務大臣 湯澤 三千男

## ◎外務大臣の交代並國務大臣の任命

任外務大臣兼情報局總裁

情報局總裁 谷 正 之

任國務大臣

青 木 一 男

内閣總理大臣兼陸軍大臣兼外務大臣 東 條 英 機

免兼外務大臣

## ◎全國總務部長事務打合せ會及内相の訓示

十月一日より實施される道府縣行政簡素化と十八年度地方豫算の編成を前にして全國道府縣總務部長會議第一日は、二十八日午前八時半より内務省で開催、まづ湯澤内相より行政簡素化および地方事務所、部落會、町内會等の整備強化ならびに地方財政の運営に關し政府の企圖するところを披瀝し、協力を要請する訓示を行ひ、つゞいて日程に入り山崎次官議長となり、關係各課長より大要左のごとく指示した。

一、地方事務所の運営……參與員の設置に伴ふ運営上の注意および地方事務所長の一部權限強化に關する事項の經過報告

一、十八年度地方豫算の編成方針および地方債に關する件……さきに通牒したる編成方針の趣旨徹底し豫算編成および地方債の抑制に關しては、さらに重點主義と效率主義を強化する。なほ從來行つた道府縣と本省側との事前の内協議は、今後これを廢止し事務の簡素化をはかる。

一、十七年度配布税の運用に關する件……單一年度における運用のみでなく年度間の調整をはかり、相當期間にまたがる綜合的運用を圖る。

一、部落會、町内會等の運用に關する件……さきに決定せる世話役、世話人の設置の趣旨徹底をはかり、自治機能の強化と蠶齎運動の滲透を期する。

一、市町村行政監査に關する件……監査は重點的に行ひ時局事務に限定する。しかしして監査にはもつぱら地方事務所長をして當らしめることとする。

引續いて協議に入り、總務部長側より地方事務所の管轄區域の變更、參與委員の運営につき積極的な意見が開陳され正午休憩、首相招待の午餐會のち午後は行政簡素化に關する指示があり、質疑應答のち午後五時散會、内相の招宴に臨んだ。

#### 訓示 (要旨)

畏くも 天皇陛下におかせられましたは、先般戰時下國內一般狀況、殊に國民總努力の實相視察のために、全國各地に侍從を御差遣遊ばされ、國民がその職域において日夜勵精致しつつある實狀について、總理大臣に特に御嘉賞の御言葉を賜つた旨拜承致したのであるが、去る十五日、小官より侍從御差遣に關する國民の感激の狀況ならびにその後における職域勵精の模様等を奏上致したところ、さらに有難き御言葉を賜はつたのである。銃後國民の

上に注がせ給ふ敬慮のほど、唯々恐懼感激の外はないのであつて、われ／＼は相携へ相率ひていよ／＼奉公の誠を竭すの決意を固くしなければならぬと、深く期する次第である。

大東亞戰爭勃發以來今日にいたる間において御稜威のもと皇軍將兵の奮戦力闘は隨處に敵兵力を撃摧し、大東亞における要域を盡く制壓するにいたつた。併しながら、戰の究極の目的は米英の徹底的打倒に在るのである。これがためには南方の建設と相俟つて、銃後における生産力の擴充と、國民生活の安定とを期し、戰爭が如何に永年月に互るも、必勝の信念を持し、不敗の態勢を確立せねばならない。しかして南方建設の要員に付いては、事の重要性に鑑み、當省としては部内の不便はこれを最大限度に忍び、思ひ切つて有爲有能の人材を多數派遣した。これらわれわれの同僚が、かねて部内で養つた智能經驗をもつて、南方各地に涉り、大東亞建設の聖業に邁進し、多大の功績を擧げつつあることは、われ／＼の誇とするところである。

政府は今般時局の必要に鑑み、行政簡素化の大方針を決し、行政の各分野に涉り着々これが實行を期してゐる。惟ふに時局の推移とともに行政事務の繁劇多端を加ふるは自然の勢である。しかも敢てこの際行政簡素化を斷行し、廳府縣についても部の廢合、待遇職員の改正、職員の減員等を行ふ所以のものは、大東亞建設の歴史的大事業を完遂せんがためには、國內における行政人員は

これを最小限度に節減し、各職員の精勵倍加と事務處理の簡易化とによつて、少數克く銃後の必要を充さんとするものである。各位は趣旨の存する所に鑑み苟み事務處理の遅延滯滞を來すがごときことなからしむるは勿論、進んで行政の敏活適實なる運営を期すべく特別の工夫努力を致さんことを望むものである。

地方事務所は七月二日を以て開設せられたのであるが、各位の格別の努力により、各府縣順調にその整備を進め、時局の要求に従つて着々その活動を營むにいたつたことは喜びに堪へない。しかしながら本施設をして克くその設置の本旨を達成せしめんが爲には、今後幾多の工夫と努力とを要することは申すまでもない。

部落會町内會等は各位の努力に依り、着々その整備を遂げ、戦時下國策の滲透徹底と國民生活の確保安定とに多大の貢獻をなしつつあるのであるが、さらに大政翼賛運動の滲透徹底をはからんがため、これらに對する大政翼賛會の指導を徹底するの必要を認め、部落會、町内會等に大政翼賛會の世話役等を設置することと相成つたのである。各位は昭和十五年訓令の示す所に従ひ、部落會、町内會の健全なる發達に努むるとともに部落會、町内會等を通ずる大政翼賛運動の徹底強化に十分の協力あらんことを望む。戦時下地方財政の健全なる運営を保つとともに、力めてこれをし時局の要求に即應せしむるの要あるは言を俟たざる所である。昭和十八年度豫算の編成に當つては物資、勞務等の需給の實勢に

適應せしむるは固より、直接戦争遂行に關係なき經費は極力節約し、一層豫算に關する重點主義と効率主義との徹底を圖るに意を用ひ、管下市町村に對しても右の趣旨に依り指導監督に遺憾なきを期せられ度い。

### ◎總務部長招待席上東條首相の挨拶

八月二十八日全國總務部長招待席上爲されたる首相の挨拶は左の如し。

今や帝國は御稜威の下、戰略的に將また政略的に、日一日と必勝必成の態勢を強化致して居るのであるが、勝ち戦に乗じてこの大戦争を戦つて居る我が帝國の國民として、この際特に心懸けなければならぬことは、決して戦勝に酔ふことなく、あく迄も戦ひ抜く積極的なる攻撃精神を以て、さらに強靱なる國內結束、ねばり強き國民團結を完成持續することであると信ずる。しかしてこの國內結束の紐帯となるべきものは、申す迄もなく地方廳である。長官輔佐の任に在る諸君の責務の重大なる所以もまた茲に存するのである。

この國內結束強化の要求に鑑み、申し上げたいことは多々あるが、この機會に、特に人の和と、連絡協調の二つの點を強調致したと思ふ。元來政治は、人情に徹した人の和によつて始めて生きた政治となるのである。人の和を基調とする結束こそ、もつともねばり強くもつとも頼もしいものである。地方廳内の職員の服

務につきましても地方廳と地方民との關係においても、常にこの人情に徹した人の和を根源として、これを律して戴きたい。

しかして戦時下行政運営の複雑化するに伴ひ、各方面の積極的連絡協調の要いよく切なるもののあることは、申す迄もないことであるが、實際問題として現状必ずしも満足の域に在りとは稱し得ないものがある。總務部長の職掌柄、諸君は特に上意下達、下意上通に遺憾なからしむると共に、府縣廳と軍および地方所在の各機關、團體等との關係においても、その連絡協調の點について更に積極的に一段の工夫と努力を加へられ、軍官民眞に一體となり聖戰目的の完遂に邁進せられんことを希望して已まないものである。

### ◎中央協力會議に於ける東條首相の表明

第三回中央協力會議九月二十六日に於ける東條首相兼翼賛會總裁の決意表明左の如し。

東條首相の大東亞戰爭勃發以來こゝに十箇月、廣大なる地域にわたり御稜威の下よく偉大なる戦果を收めつゝある忠勇無比なる海陸軍將兵の善謀勇戦に對して、諸君と共に深甚なる敬意と謝意とを表すると共に護國の英靈となられた方々に對して、謹んで敬弔の誠を捧げ、併せてその遺族の方々ならびに傷病將兵各位に對して、衷心より感謝と同情の意を表する次第である。しかしこの輝かしき戦果の蔭に在つて、あらゆる艱難を克服し、各々その職

域を通じて、御奉公の誠を致され、前線銃後一體の實を擧げつゝある國民諸君の捷まざる御努力に對して、滿腔の敬意と謝意とを拂つてやまざるものである。惟ふに、大東亞戰爭は、建國三千年、國體の精華燦として輝く帝國が、東亞安定に關し、隱忍に隱忍を重ねたる積年の努力が悉く水泡に歸せむとするに際し、やむにやまれず蹶然起つて米英の一切の障碍を破摧せんとする世界未曾有の大戦争である。徹底的に米英を擊擄し、あくまでも米英をして帝國の不拔の意志に屈服せしめて多年にわたる禍根を芟除せざればやまざる大戦争である。中途半端に葬り去ることの出来な

い大戦争なのである。しかしてこの大戦争は御稜威の下、全世界を驚倒せしめたる帝國の一方的大戦勝によつて、發足したのであるが、この大戦果に呼應して、國內に在つても、軍官民一體、眞に協心戮力の實を發揮しつゝ、各方面にわたつて飛躍的に國內戰時體制の整備を行つて來たのである。かくして帝國は、戰略的にも政略的にも最も有利なる態勢を確立して、驚くべき短期間において次の戦争段階に對する準備を完成したのである。

併しながら、米英は敗戦を重ねて、前途正に暗澹たるものあるにも拘らず、彼等の經濟力、なかんづくその生産力に恃んで、強靱にも食ひ下り、執拗にも反攻せんとする氣構へを示してゐる。蓋し、米英のこの氣勢たるや、決して輕視すべからざるものがある。すなはち、米英兩國は生死の最後の關頭に立つ

て、その數百年來蓄積せる富と力とを傾けて、我に戦ひを挑んでゐる、素より御稜威の下、天佑神助の加護あり、盡忠無比の皇軍を擁する帝國としては、斷してこれを恐るゝものではないが、一日と雖も油斷をすることは許されない、緒戦における赫々たる大戦果は、最後の勝利我に在り、との確信をいよく絶對不動のものとしたが、今後眞に國民が渾然一體、力を合せて

・こそ初めて最後の勝利を確保し得るものと信ずる。

由來戦争は、意志と意志との戦ひである、頑張り合ひの闘ひである、持久力の争ひである、總力戦たる近代戦争において特に然り、従つて、今後における大東亞戦争の様相は、文字通り各國がその興廢存亡を賭しての戦ひであり、最後の五分間まで頑張り通したものに勝利の榮光は輝くのである、戦ひは正にこれからだ、と云ふ所以は、實にこゝに在り、一億國民が奮起し、しかも飽くまで頑張りが必要とする、まことに今日より大なるはなしと、申すべきである、しかし米英の頑張りは絶望の淵に臨むあがきであり、日本の頑張りは光明に満てる建設の喜びである、こゝに日本と米英との間に本質的な相違がある、今や我々の友人は、我々の兄弟は、勇躍、陸に、海に、空に、彈丸雨飛の間、熾烈なる戦闘を戦ひ續けてゐる、只今私が諸君の前でお話をしてゐるこの瞬間においても、幾多忠勇義烈の士が身を鴻毛の輕きにおいて、雄々しくも君國に殉じてゐる、これを思ふのとき、直接彈丸の中を

潜らない銃後國民と雖も、熱き血潮の胸に高鳴るを覺え、いよいよ滅私奉公の誓ひを固くせざるを得ないのである。

昨年十二月八日、恰も中央協力會議の當日、畏くも宣戰の大詔を拜し、一億國民が忘れんとして忘れ得ざる、あの感激の日より十箇月間、こゝに再び相會して中央協力會議を開催することゝなつたが、私は今や一億國民は更に思ひを新たにし、靜かに内に省み、今後一層の努力を傾注すべき時期である、と信ずる、即ち今日こそ一億國民の一人一人が、眞に祖國の運命を擔つて立つてゐるのであるとの自覺を新たにし、各自の實生活においても飽くまで戦時の心構へをもつて、苟くも各人の有する全智全能を剩すところなく、戦争目的完遂に集中すべき時期である、かくして陸海軍の水も漏らさぬ完璧の陣容、その虚々實々を盡す至妙なる不斷の作戦に配するに、銃後官民の岩をも徹す鐵石の結束をもつて、これ正に大東亞戦争目的完遂上、平凡の如くにしてしかも最も根本的な絶對要件である。

しかしこの國內鐵石の結束あつてこそ、初めて戦力は倍加せられ飛躍的な生産擴充も可能となり、如何なる困難の克服も容易なのである、この結束強化のため、私は機會ある毎に色々所信を披瀝して來たが、これを要するに、國內結束の根源はお互が苦樂を分つ親子兄弟の氣持になり、生死を共にする戰友の氣持になつて、この潤ひのある力強い氣持を實生活の中に如實に具現し

て行くことに在りと信ずる、とくに初めて絶対の信頼が生じ、没  
 我の協力が生れる、流言蜚語も第五列の策謀も施すに術なき鐵壁  
 の團結が出来るのである、政府においても、この振古未曾有の重  
 大時局に當つて、國內結束の見地より上意下達と共に、特に下情  
 上通の必要を切實に感じてをり、一度その核心に觸れ、その緊急  
 性を認むるや、直ぐに具體的の對策を講して來てゐる、そもく  
 大政翼賛會設立の趣旨もこゝにあり、さきに大政翼賛會が國民運  
 動の中核體として各種の國民運動團體をその傘下に收め、盛り上  
 る國民の力によつて眞に強力なる國民運動の展開を圖りつゝある  
 のも、またこの趣旨に外ならない、今次開催せられたる中央協力  
 會議の主目標とする所も實にこゝに存する今や、大政翼賛會の活  
 動に期待すること、洵に大なるものがある、本會議は會期僅か四  
 日に過ぎないが、各位は、その卓越せる識見と豊富なる體驗とを  
 以つて、戰爭必勝、建設必成を期するため、國內結束の強化に關  
 する具體的措置の檢討に會議の中心をおき、戰爭下國民の眞情を  
 傳へ、以つて大東亞戰爭完遂途上における今次國民總常會の眞價  
 を、遺憾なく發揮せられんことを願つてやまない。

× × ×

× × ×

若葉吟社詠草

雲然ゆる夕陽眺めつ西瓜喰ふ	露
微味嗜の茶汁もうまし山の家	同
海藻に群る舟蟲や風強し	靜
微を干す父の日記や母笑める	同
古寺や微鼻を打つ試膽會	凡
川止や暮れ行く飛彈の峯遙か	同
川止めや水郷の村黄昏るゝ	淺
川止に山の綠や目に親し	農
舟蟲や岬は模糊と暮れかゝる	柿
旅宿の蚤に責められ明近し	春
川止の今日も尙雨黄昏れて	秋
照りつけて花盛りなり西瓜畑	逸
○ 微の花雨尙續く木賃宿	野狐禪
川止めに倦める幾日や酒の事	同